

# 前線の位置の決め方

- 850hPa気温または相当温位。
- 等温線または等相当温位線の集中帯の暖気側。

# 発達中の温帯前線の雲画像

- 雲頂高度が高い(赤外画像で明瞭)。
- 極側の境界: 明瞭、高気圧性の曲率(バルジ状)。

↑ 暖気移流 + 上昇流。

# 雲画像の種類

雲画像の種類	特徴
赤外画像	雲頂高度が高い雲⇒白
可視画像	厚い(=雲水量が多い)雲⇒白
水蒸気画像	対流圏中上層の水蒸気が多い雲⇒白

# 温帯低気圧が発達する条件

- 上空の気圧の谷が西にずれている。
  - 地上天気図+500hPa天気図
- 前面で暖気移流、後面で寒気移流。
  - 850hPa天気図
- 前面で上昇流、後面で下降流。
  - 700hPa天気図

# 雨・雪判別

- 気温と湿度。
  - 地上気温 $2\sim 4^{\circ}\text{C}$ 程度が境目。
  - 湿度が低い場合：蒸発熱で冷却→雪になりやすい。
  - 850hPa天気図で $-6^{\circ}\text{C}$ が目安。
    - 地表付近の湿度に注意。
    - 地表付近に冷気がたまっている場合も注意。

# 風の鉛直シアと温度移流

- 温度風＝地衡風の鉛直シア
  - ⇔ 温度の水平勾配
  - 風速が時計回りに変化：暖気移流。
  - 風速が反時計回りに変化：寒気移流。

# 風の強さ

強さ	平均風速
やや強い	平均風速10m/s以上
強い	平均風速15m/s以上
非常に強い	平均風速20m/s以上
猛烈な	平均風速30m/s以上

# 波の高さ

高さ	有義波高
やや高い	有義波高が1.25mを超える
高い	有義波高が2.5mを超える
しけ	有義波高が4mを超える
大しけ	有義波高が6mを超える
猛烈なしけ	有義波高が9mを超える

注: 有義波高とは、波高の高いほうから順に全体の1/3の個数の波を選び、これらの波高を平均したものである。



# 府県気象情報

- 予告的な役割：
  - 警報や注意報に先立って現象を予告し、注意を呼びかける。
- 補完的な役割：
  - 警報や注意報の内容を補完して現象の経過や予想、防災上の注意点を解説する。